

シンガポール研修報告書

教育学科 4年

私は9月11日～16日までの5泊6日間、シンガポール研修へ参加させていただきました。現地の保育園・幼稚園・小学校計4か所の学校訪問もさせていただきました。またその中で現地の子どもたちと交流会もさせていただき、実践も行ってきました。日本との違いや似ている部分を見つけることができました。シンガポールの中で非常にレベルの高い学校を訪問させていただき教育力の高さをとても感じました。



Marymount Convent School (メアリーマウント・コンヴェント・スクール)

カトリック系の私立小学校、

1957年に設立され60周年を迎える。

女の子のみ通える小学校となっている。

午前の部・午後の部とわかれており生徒が通っている。

シンガポールの小学校は母語と英語の二言語教育が基本となっている。この小学校には中国語の先生も在籍している。

小学校6年生になると大切な試験があります。多くの子どもたちは塾に通ったりと、非常に勉強熱心であることがわかりました。

子どもたちの才能をみつけて伸ばす→自分の好きなものを選び活動する機会がある。クラブ活動に近いものです。例えば音楽、器械体操等を行う時間がある。

私たちは子どもたちに「折り紙」の文化を伝え、子どもたちにも実際に折ってもらいました。日本の四季を紹介し春・夏・秋・冬に合わせたもの（チューリップ・はっぴ・きのこ・だるま）を子どもたちに説明しながら製作活動を行いました。ジェスチャーや単語で伝えたいことを表現すると、子どもたちは理解してくれて、折り紙を楽しそうに折っている姿が見受けられました。

またダンスの授業を見学させていただいた際には、実際に授業に参加させていただきました。ダンスや実践を通して子どもたちとのコミュニケーションを図ることができました。



Little School House outrun House ザ・リトルスクール・ハウス（アウトラム校）

シンガポールに全部で17カ所の園がある。

18ヵ月～6歳までの子どもが通える。

子どもたちが新聞を読むという時間がある。

私たちはこの幼稚園で4歳児・5歳児の2クラスに分かれ
交流会をさせていただきました。

最初に日本のわらべ歌を紹介しました。

「おてらのおしょうさん」

「おせんべ」を紹介し、「おせんべ」は子どもたちと
一緒に行いました。その次に絵本「だるまさんが」を
読み、子供たちも真似したり、

楽しそうに絵本を聴いている姿をみて、オノマトペ、
唱歌、数字は多文化の子どもたちと関わる際にも有効だということがわかりました。

最初は言葉も通じないし、まだまだ前に出てそういった活動を進めて行く事に不安が
ある中で本当にうまくできるのかという不安でいっぱいでしたが子どもたちがとても
楽しんで活動してくれる姿をみることができました。



また最後には子どもたちから絵のプレゼント
をいただきました。シンガポールを象徴するもの
が描かれており素晴らしいプレゼントとなりました。

私たちも日本らしいものをプレゼントしたいとい
う思いから、折り紙で折った「コマ」のプレゼン
をしました。早速コマを回している子どもたちが見
受けられ、プレゼントして良かったと感じました。

この交流を通してわかったこと感じたことをまとめていき、実践する際にもっと良い
教材研究はできないかを考え、私はそれを卒業研究のテーマとし進めていきたいと考
えています。

初めての海外でワクワクな気持ちと不安な気持ちの半々でこの研修に臨みました。そ
して幼稚園などを訪問し子どもたちの前で活動を進めていくという大変貴重な機会を
いただき試行錯誤しながら進めていくことで仲間と協力すること、何よりも私たちも一
緒に楽しんで行くことが大切だと改めて感じることができました。

